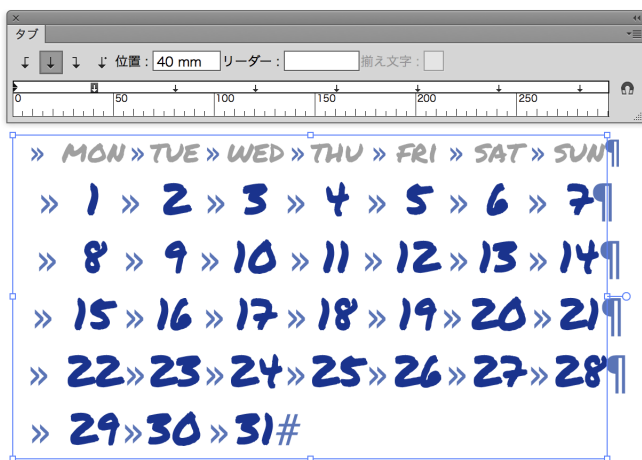


# スレッドテキストと文字の切り換えで作る1分で作成するカレンダー

カレンダーの日付のように、等間隔で配置するものには「タブ整形」を使うのが一般的です。



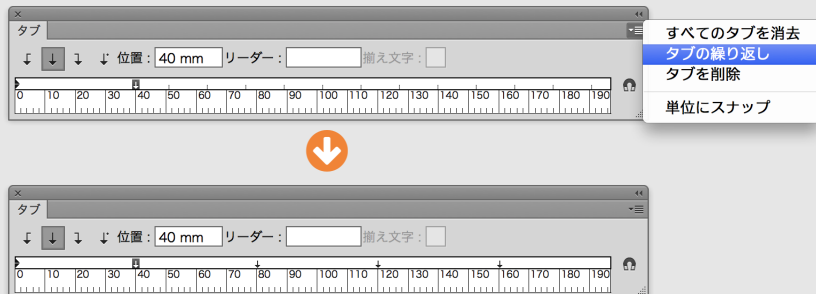
しかし、右のサンプルのように、アピアランスを使って文字ごとに装飾を加えたい場合には、1文字ずつ独立させておく必要があります。

Illustrator CC以降で実現された「ポイント文字」に切り換え機能を使って、短時間でカレンダーを作成する方法を紹介します。



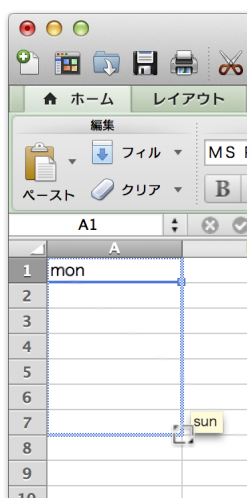
## タブの繰り返し

等間隔でタブストップを挿入するには「タブの繰り返し」が便利です。基準となるタブストップを挿入し、[タブ]パネルメニューの「タブの繰り返し」をクリックします。

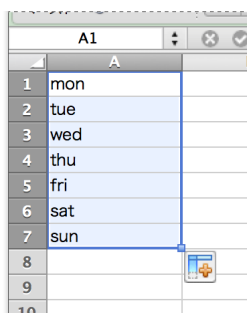


## 下準備編

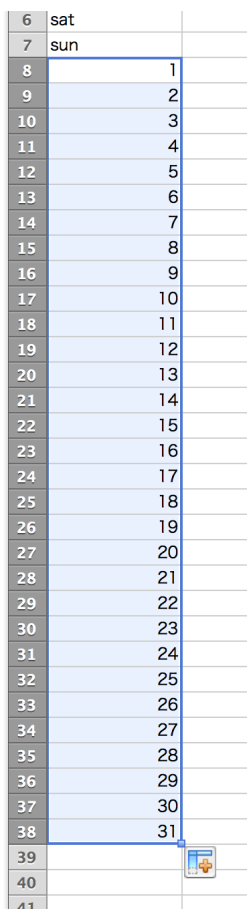
1. Excelで新規ドキュメントを作成する
2. 「mon」と入力し、そのセルの右下にカーソルを当てて、そのままドラッグする **1**  
「オートフィル機能」によって、「tue」「wed」…のように曜日が入力されるので、7行目の「sun」が表示されるようにする（ドラッグをやめる前に黄色いヒントを見ながら操作してみてください） **2**
3. 「sun」が入力されたすぐ下のセルに「1」と入力し、そのセルの右下にカーソルを当てて、**[option]**キー（**[Alt]**キー）を押しながらドラッグする。（**[option]**キー（**[Alt]**キー）を忘れると「1」が繰り返されます）。「2」「3」のように数字が増えるので、「31」まで続ける **3**
4. 「mon」から「31」までのセルを選択し、コピーしておく **4**



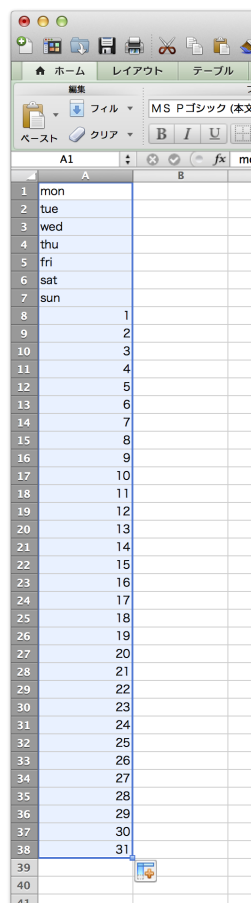
- 1** 「mon」と入力し、そのセルの右下にカーソルを当てて、そのままドラッグ



- 2** 7行目の「sun」が表示されるまでドラッグ



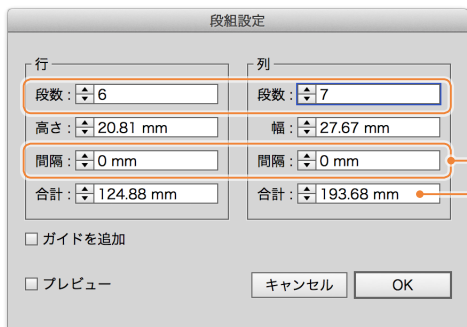
- 3** 「1」と入力し、そのセルの右下にカーソルを当てて、**[option]**キーを押しながらドラッグ



- 4** 「mon」から「31」までのセルを選択し、コピー

## Illustratorでの作業

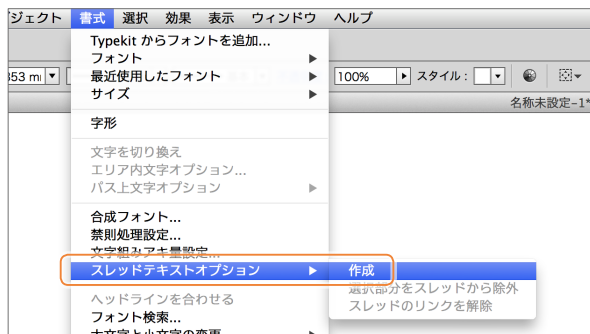
1. カレンダーの完成サイズとなる大きさの四角形を描画する  
後工程で消えるため、塗りや線が設定されていてもよい
2. [オブジェクト]メニューの[パス]→[段組設定]をクリックし、[段組設定]ダイアログボックスを表示する
3. [行]の[段数]に「6」、[列]の[段数]に「7」を入力する  
ダイアログボックスを閉じると、四角形が縦6列、横7列に分割される



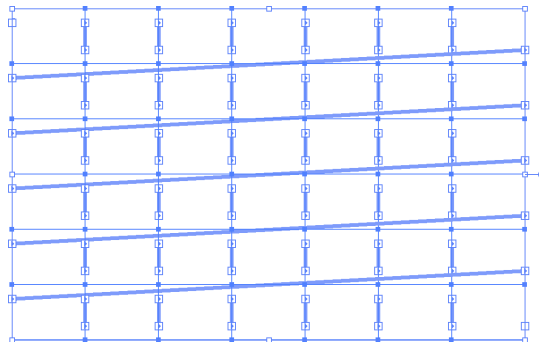
[間隔]は、いずれも  
「0」(mm)に設定する

[合計]の値を変更すれば、最初に  
描いた四角形の大きさを無視して  
幅と高さを設定することができる

4. [書式]メニューの[スレッドテキストオプション]→[作成]をクリックする

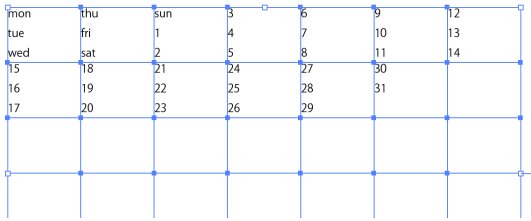


5. 分割されたボックスがエリア内テキストエリアに変換され、それぞれが連結される

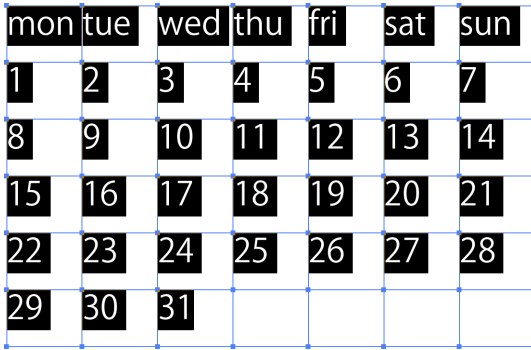


最初に描いた四角形に塗りが  
設定されている場合、この  
時点で消えます

6. [文字ツール]に切り替え、左上のボックスでクリックし、下準備編でコピーしておいた文字列をペーストする

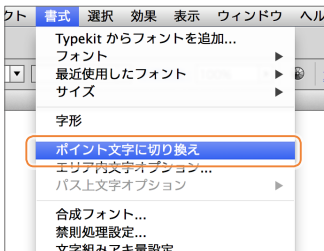


7. ペーストした文字をすべて選択し (⌘+A) / (Ctrl)+[A])、フォントサイズを調整する



「1(日)」を月曜日以外の曜日に設定したい場合には、「ポイント文字に切り換え」を実行する前に、「1」の前で[Return]キーを押して改行します。

8. [選択ツール]に持ち替え、[書式]メニューの[ポイント文字に切り換え]をクリックする  
エリア内文字がポイント文字に変換され、ボックスが消える



「ポイント文字に切り換え」(エリア内文字に切り換え)は、Illustrator CC以降の機能です。

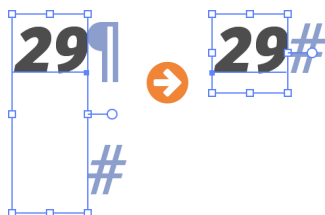


## 9. フォントやサイズ、カラー、行送りなどを調整する

mon	tue	wed	thu	fri	sat	sun
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

### 注意点

- Illustratorには、InDesignでいう「改段」や「改フレーム」などの記号はありません。
- ポイント文字に変換するときに、各文字ごとに、改行が2つ(正確には、「改行」と「テキストの終わり」)になってしまいます。次のページを参考に、改行を削除しましょう。



- アピアランスを併用することで、さらなる表現が可能です。

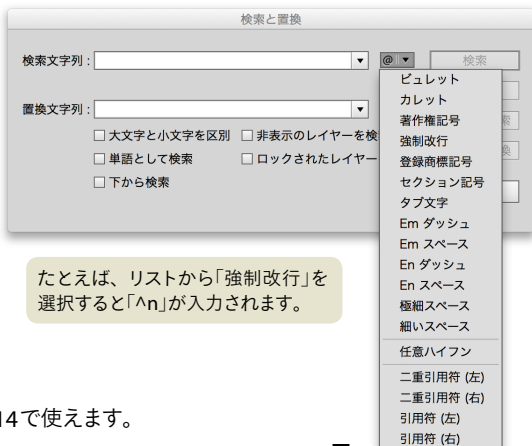
mon	tue	wed	thu	fri	sat	sun
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



## 改行や空行を削除するテクニック

Illustratorの[検索と置換]ダイアログボックスでは、いくつかの制御文字の入力をサポートしていますが、改行コードは入っていません。

改行を削除するには、次のいずれかの方法を用います。

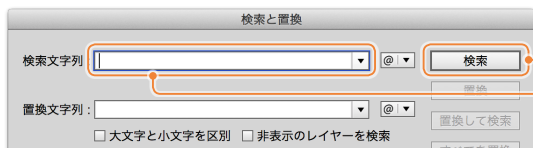


たとえば、リストから「強制改行」を選択すると「\n」が入力されます。

## 改行コードをコピー &amp; ペースト

この方法はIllustrator CS6/CC/CC 2014で使えます。

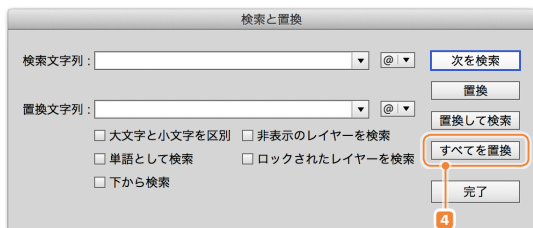
1. 制御文字を表示し、改行コードをコピーする
2. [検索と置換]ダイアログボックスを開き、[検索文字列]フィールドに[⌘]+[V]でペーストし、[検索]ボタンをクリックする



2 ペーストしてもコードとしては見えない

3. [置換文字列]を空白のまま、[すべてを置換]ボタンをクリックすると、改行コードが削除される

[検索]ボタンを押してスキップしたり、[置換して検索]ボタンをクリックして、ひとつずつ置換していくこともできます。

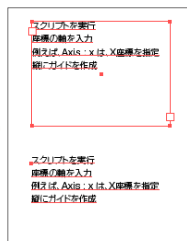
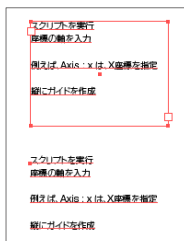


## スクリプトを使う

PICTRIX BetaBoxの「CrDel.js」も便利です。  
<http://www.pictrix.jp/ai/CrDel/>

正確には、空行を削除するスクリプトですので今回の場合には使えません。

スクリプトについては6ページを参照してください。



## ユーティリティを利用する

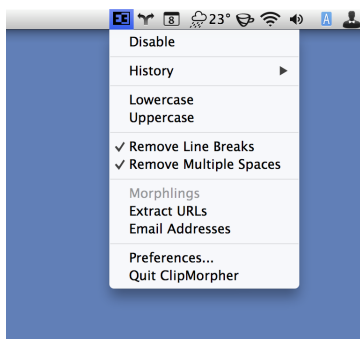
改行や空行の削除に、ClipMorpherやPlain Clipを使うのもオススメです(いずれも無償ですが、Mac用のみ)。

### ClipMorpher

起動するとメニューバーに常駐します。[Disable]をクリックするか、終了するまで、ずっとアクティブな状態です。

[Remove Line Breaks] (改行の削除)、[Remove Multiple Spaces] (連続するスペースの削除) オプションをONにしておくと、コピー & ペーストの際、自動的に実行されます。

URLのみを抜き出す[Extract URLs]というユニークなオプションもあります。

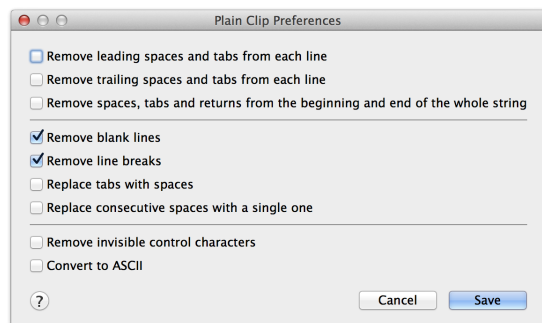


<http://www.tamasgal.com/m/ClipMorpher.html>

### Plain Clip

起動する際に、クリップボード内のテキストを加工し、すぐに終了します。一瞬で終了するため、戸惑うかもしれません。起動のためグローバルキーボードショートカットが用意されていないので、Sparkなどを使って設定しておくともよいでしょう。または、Finderのツールバーに登録しておきます。

**Shift** キーを押しながらアプリケーションアイコンを押すと設定画面が出てきます。タブコードを削除するなど、多機能です。



<http://www.bluem.net/en/mac/plain-clip/>

## ClipMenuとオリジナルスクリプト

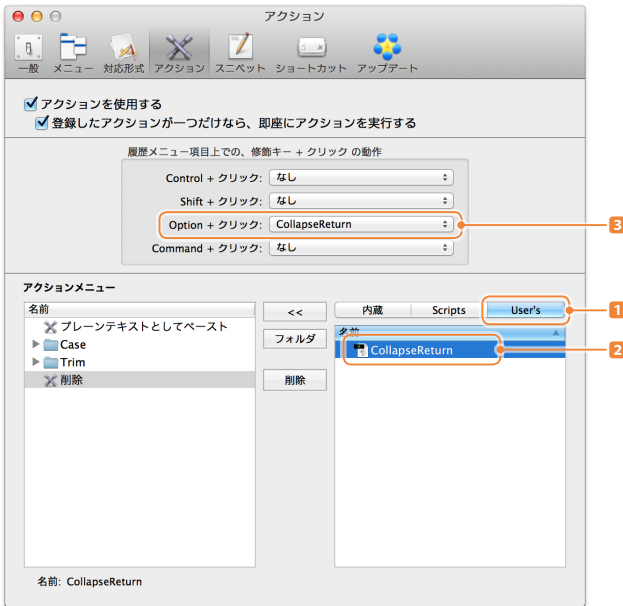
ClipMenuにスクリプトを組み合わせると、ペースト時に改行を削除することができます。

### 下準備

1. 本文に次のように記述したテキストファイルを作成し、「CollapseReturn.js」という名称で保存する

```
return clipText.replace(/(\r\n|\n\r|\n|\r)/g, '');
```

2. 「~/ライブラリ/Application Support/ClipMenu」を開き、「script」フォルダー、「action」フォルダーを作成し、「CollapseReturn.js」を移動する
3. ClipMenuを再起動し、環境設定を開く。[アクション]パネルの[User's]タブに切り替えると **1**、そこに「CollapseReturn」が見える **2**
4. [履歴メニュー項目上での、修飾キー+クリックの動作]で、[Option+クリック]のポップアップメニューから「CollapseReturn」を選択する **3**



### 実行編

ClipMenuを呼び出し、[履歴]のリストからペーストしたい文字列を **option** + クリック (または **option** + **return**) する

